

## 1 開催経緯について

現在、九州・山口管内では、49の自治体がホストタウンに登録され、44の国・地域を迎えることとなっている。今後、各国による事前キャンプやホストタウンでの交流が本格的に始まることから、九州地方知事会・政策連合の取り組みとして、サミットを開催。

## 2 サミットの概要

(1) 日 時 平成30年8月17日(金) 12:50~19:15

会 場 ロイヤルホテル宗像

(2) 主 催 福岡県、ふくおかスポーツ振興プロジェクト実行委員会

後 援 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部、経済産業省  
スポーツ庁

協 力 オリピック・パラリンピック等経済界協議会、一般社団法人九州経済連合会、  
宗像市

(3) 参加者 内閣官房、大使館、九州・山口各県のホストタウン登録(検討中を含む)自治体、  
経済界・企業、関係団体等 約130名

(4) 主な出席者

鈴木 俊一 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

姫野 昌治 一般社団法人九州経済連合会副会長兼理事

小川 洋 福岡県知事



フォトセッション

(5) 当日内容

- ・ポスターセッション(自治体、企業による取組みを情報提供)
- ・基調講演 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣
- ・フォトセッション
- ・オリパラ等経済界協議会(参加企業)からの情報提供
- ・インタビューダイアログ
- ・ワールドカフェ(グループ協議)



ワールドカフェの様子

## 3 成果

○タトゥー文化への理解を求めオセアニア五輪委員会からの意見を受け、具体的な受入方法について、後日、自治体とプール施設管理者で協議を進め、水泳選手3名の受入を実現

○キャンプ受入れ時の外国語対応について、参加自治体とIT企業が翻訳アプリの活用に向けた協議を開始

○同じ国や競技種目を受け入れる自治体同士が連携し、実務レベルでノウハウを共有